

男女共同参画啓発ポスターコンクール 優秀賞作品

高校生の部



うい せら さん
宇井 星空 さん

(和歌山市立和歌山高等学校2年)

職場においてもっと女性が明るく照らされ、注目されるようになってほしいという思いをこめた作品です。



なりた こう さん
成田 コウ さん

(和歌山市立和歌山高等学校2年)

「夕暮れに家族で手をつないで帰っている影」が温かい感じがして好きだったので、それにしました。また、文字の「ふたりに」というところを強調したかったので、「ふたりに」の下に線を引いて、より分かりやすくしました。



みやぎき こうれん
宮崎 香蓮 さん

(和歌山市立和歌山高等学校2年)

SNS等でお父さんが子どものお世話をしている動画には、「すごくいいお父さん!」「イクメン」などコメントされているのを見かけ、お母さんの場合だとそんなコメントはありませんでした。同じ育児をしても父、母でこんなにも周りの反応の差がでるのかと違和感を感じたので、「イクメン」という言葉について問いかける作品にしました。この作品を見て、少しでも男女の差について考えてもらえたらいいなと思います。



おくばやし りこ
奥林 莉子 さん

(和歌山県立耐久高等学校2年)

私はこの絵に「みんな性別関係なく自分らしく生きてほしい」という思いをテーマにして描きました。また、この絵の見てほしいポイントは二つあり、一つ目は表向きは普通の男女に見えますが、この2人の本当になりたい姿(自分)が鏡に映し出されていたり、二つ目はそのままの自分をさらけ出せず、モヤモヤした感情を白いレースのリボンで表したりしました。